

弥生三月です。今月 19 日には京都で年次大会が開催されます。

三月は日本では年度末。学校は年度で動いている世界です。その意味で今月は総括の月、新たな旅立ちの月になります。かつて、受験生を担当している先生が、本当の新年は合格した時だとして三月に年賀状を出したというようなエピソードが語られた時代がありました。さすがに現代では、そんな話題は無くなっているようですが、それでも区切りの時は重要。先生方も様々な思いを抱いて別れの季節を迎えることになることだろうと思います。

また、3月11日は東日本大地震の5年目にあたります。防災や復興を経済教育でどう組み入れるかという課題も考えてみたい月です。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【 1 】最新活動報告

2月の活動を報告します。

【 2 】イベントカレンダー

年次大会の案内、部会の案内などを紹介します。

【 3 】授業のヒント

【 1 】最新活動報告

最新のニュース、2月に行われた活動などを報告します。

■ニューズレターが復刊しました。

3年近く休刊がつづいていたニューズレターが復刊しました。

宮尾尊弘先生の「シェアエコノミーを経済学で考える」、金子幹夫先生の「経済の授業でスキマを考える」の二つの記事が掲載されています。

以下のHPでお読みください。

<http://www.econ-edu.net/reference/newsletter/NL8-1.pdf>

■夏の経済教室の日程と会場が決定しました。

名古屋中	8月4日(木)	ウインクあいち
名古屋高	8月5日(金)	ウインクあいち
大阪中	8月8日(月)	国民会館
大阪高	8月9日(火)	国民会館
東京高①	8月18日(木)	東証ホール
東京高②	8月19日(金)	東証ホール

東京中① 8月22日(月) 東証ホール

東京中② 8月23日(火) 東証ホール

内容、講師など詳細は決まり次第ウェブ上にアップいたします。

■名古屋部会 (No. 5) を開催しました。

日時：2016年2月6日(土) 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階303講義室

主な内容：出席者10名

- (1) 篠原総一先生(京都学園大学学長)より経済教育ネットワークや各部会の活動の報告がされました。
- (2) 部会間交流で派遣された、金子幹夫先生氏(神奈川県立平塚農業高等学校初声分校)より1月23日の冬の経済教室 in 東京での発表を踏まえた、授業での論点の設定やゲーム教材の活用についての報告があり、質疑が行われました。
- (3) 伊藤達也先生(名古屋市立志段味中学校)より経済学習をわかりやすくするための学習プリントや新聞記事の活用についての報告がされ、質疑と討論がおこなわれました。
- (4) 水野英雄先生(椋山女学園大)より名古屋部会をこれからも活発に取り組んでいきたいとのまとめと今後の活動への協力への依頼がありました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya005report.pdf>

■大阪部会 (No. 47) を開催しました。

日時：2016年2月6日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

主な内容：出席者10名。

- (1) 野間先生(同志社大学)から経済教育ネットワークの最近の動向について報告がありました。
- (2) 上畑直久先生(京都市立栗陵中学校)の地理の授業教材「近畿地方ー環境保全に着目してー」の発表があり検討が行われました。
- (3) 大塚雅之先生(三国丘高校)から「三国丘高校等学校のSGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)の取組みについて」という活動報告があり、質疑が行われました。
- (4) 関本祐希先生(大阪府立交野支援学校四條畷校)から「2016年度公立高校入試問題の分析と授業へのヒント」の報告があり、検討が行われました。関本先生の報告は、3月の年次大会の第二部で発表される予定です。

関本先生の資料とあわせて李洪俊先生(長吉中学校)から、興味深い高校入試問題を抜粋しコメントや活かし方などのメモを加えた資料が配られ、高校入試の変貌を確認しました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka47report.pdf>

■東京部会 (No. 81)を開催しました。

日時：2016年2月25日(木) 19:00～21:00

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

主な内容：参加者17名

- (1) 部会交流で名古屋部会から水野英雄先生（椙山女学園大）が参加されるなど、新しく参加される先生方もいたので自己紹介から始めました。
- (2) 年次大会の準備状況の確認を行い、松井克行先生（西九州大学）が報告される予定の選挙の経済学に関する内容を検討しました。
- (3) 本年度の夏の経済教室の日程と内容についてのディスカッションを行いました。今年は、導入が予定されている新科目「公共」、アクティブラーニングに対応する経済教育のあり方を探ることを念頭に、シリーズとして継続している各種企画をさらに内容をアップさせる企画を検討してゆくことになりました。
- (4) 部会報告が行われました。名古屋部会に関しては水野先生から資料をもとにこれまでの歩みと課題が報告されました。
- (5) 埴枝里子先生（都立府中東高）から「公共の経済学」の学習指導案が提案され、検討がおこなわれ、今後の教材化を目指すことになりました。
- (6) 升野先生（筑波大学附属中）から定期考査問題が紹介されました。
- (7) 今回は、選挙の経済学、独占と公共の問題の授業案検討や参加者の活発な意見交換がおこなわれ有意義な部会となりました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo081report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

*イベントの予定です。

■年次大会を開催します（～そうだ今年も京都で学ぼう～）

日時： 2016年3月19日 13:00～16:40（受付12:30より）

場所： 同志社大学 寧静館

第一部：新しい経済教育の実践提案

高等学校を中心に、アクティブラーニング（上原功先生）、選挙の経済学（松井克行先生）、直接金融・間接金融（野間敏克先生）に関する斬新な実践提案をしていただく企画です。

第二部：高校入試問題を通じた中学経済授業の改善提案

意欲的な高校入試を基にした分析と授業提案を行います。

奥田修一郎先生、山下豊先生、関本祐樹先生が担当されます。

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Sympo/20160319Rsymposium.pdf>

関西地区の先生方、お知り合いにお声をおかけください。それ以外の先生方も春の京都で学びませんか。

* 定例部会のお知らせです。(開催順)

■大阪部会 (No. 48) を開催します

日時：2016年4月9日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka48flyer.pdf>

■東京部会 (No. 82) を開催します

日時：2016年4月14日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部本館会議室(予定)

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo082flyer.pdf>

■名古屋部会 (No. 6) を開催します

日時：2016年4月23日(土) 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階303講義室

地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車6番出口より左へ徒歩5分

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya006flyer.pdf>

■札幌部会 (No. 15) を開催します

日時：2016年5月21日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンクセミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7 Sapporo55ビル5階

内容、参加方法は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo015flyer.pdf>

* 関連団体のお知らせです。

・ミニネタ研

3月9日(月) 14:55～

大阪教育大学附属天王寺小、安藤雄一先生のTPPの授業です。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/Mini-neta31stR.pdf>

・国際シンポジウム

ウィリアム・ウォルスタッド教授（ネブラスカ大学リンカーン校）による経済学教育・パーソナルファイナンス教育に関する国際シンポジウムです。

3月23日（水）13時00分～16時40分

早稲田大学アジア太平洋研究科会議室（7階713室）

準備の都合上事前にお申し込みください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/etc/201603.financial%20literacy%20sympo.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■ マイナスの意味を教えよう

日本銀行がマイナス金利を導入して、にわかに経済でマイナスの理解の必要性が注目されるようになってきました。マイナス金利に関する本格的な意味の解説に関しては専門のエコノミストに任せるとして、ここではもっと基本的なマイナスについて考えてみたいと思います。

そもそも、マイナス、負の数は理解そのものが難しい側面を持っています。なにしろ、負の数が概念として登場して、それが普及してゆくのに1000年近いやそれ以上かかっているという歴史からもそれが言えます。

負の数の概念を発見したのは誰かに関しては諸説あります。ゼロの発見と同じインド人ともされていますが、中国では紀元前から負の数の理解はあったとも言われています。

ゼロや負の数がインドから、アラビアを経てヨーロッパに渡ったのは12世紀ルネサンスとよばれる時代です。ヨーロッパでは信仰上の問題もあり、やっと16世紀になって負の数の利用が普及し始めてゆきます。

この歴史を見るだけでも、負の数、マイナスの理解は一筋縄ではいかないことが理解できるでしょう。

さて、生活の中でのマイナス、負の数ですが、プラスが実生活で実感として素直に理解できるのに対して、マイナスはイメージの転換が必要になります。

例えば、100円利益が上がった、+100円は実感としてすぐ理解できます。それが-100円の利益が上がったと言われると、頭の中で利益の反対概念は何かを探し、そこから損失という概念を取り出して、やっと-100円の利益は、100円の損失だとなるわけです。

経済では、赤字、黒字という形で、正負の数が入ってきます。これは何とか理解できます。でも、マイナスの価格という概念はなかなか難物です。

林敏彦先生の著『需要と供給の世界』の、ごみの価格をグラフで説明した箇所は、「マイナスの価

格」の意味を理解し易い例です。ごみという財 (bads) にマイナスの価格をつけることで、お金を払って商品を販売 (供給) するという逆転の世界が紹介されています。

しかし、この記述は、読むと説得的ですが、それを生徒に理解させるのはなかなか難しいし、なにより先生方に納得させることが難しいと猪瀬武則先生がつとに述べられていた通りです。

とはいえ、今回のマイナス金利も、次のようなステップを踏めばなんとか理解できるかもしれません。一つは、金利が、厳密さは欠けるけれど、シンプルに一定期間にお金を借りる時の使用料、価格であると考えます。(ここで時間の経済学が入りますが、今回はそこでマイナスをすぐには考えないことにします。)

二番目に、概念の逆転を説明します。普通はお金を借りるとプラスの価格が付き、借りた人が金利を払い、貸した人は金利を受け取るという行為が行われます。マイナスの金利はこれが逆転することになります。

三番目に、こんな状態になったら何がおこるかを説明します。模擬紙幣を使って実演してもよいでしょう。

マイナス金利では、お金を借りた人が金利を受け取り、貸した人が金利を払うということになります。そうすると、借りる人がトクをして、貸した人がソンをすることが発生します。

四番目に、具体例で考えます。例えば、銀行預金でいえば、お金を貸す人は預金者で、借りる人は銀行になります。だから、預金をするより、もっと別の使い方をした方がよい、もしくはタンス預金でそのままにするという誘導になるわけです。銀行が個人や企業にお金を貸す場合も同じように、逆転現象が起こるわけです。

五番目に、今回の日本銀行の政策の仕組みを解説します。中学生だとここはあまり深入りできないかもしれませんが、重要なのは、日本銀行が何を期待してこのような政策を実施したのかを理解させることです。

実際の授業で、ここまで説明するだけでも結構大変ですが、一番のポイントは、マイナスの概念をしっかりと理解させることです。これは本来、数学の授業の役割です。マイナスの概念は中学一年生で学びますが、結構ここでつまづく生徒も多いといわれています。数学の先生から生徒の理解度などを聞いたうえで授業を展開することも大事な要素になるかもしれません。

ともあれ、これからも経済の世界では、負の所得税などマイナスの概念が必要な政策の導入が話題になることもあるはずで、基礎から手順をふむことがこの種の理解では大事なことということになりそうですね。

ちなみに『ドラえもん』には「お金のいない世界」という逆転の世界の話があり、マイナスの理解に関連して、参考になるかもしれません。(新井)

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

授業のヒント、マイナスでつまづいた中学生はこの私です。半世紀前にもなります。 $-2-3=-5$

が理解できずに困惑しました。 $(-2) \times (-3) = 6$ の意味は今だうまくは説明できません。
こんな簡単なことが、と周りは思っているでしょうが、つまずいている生徒は意外に単純なところで理解できないことが多いはず。「借金と借金をかけると財産になる」などと考える人間を出さないためにも、つまずきを予防できる、しっかりとした教育が必要だと感じています。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇